

江東区深川江戸資料館 ■ 伝統芸能公開
江戸庶民の語り物

新内流し

平成二十九年十二月九日（土）

午後二時〇分～三時〇分



演者 新内 多賀太夫 ほか

☆新内剛士 改め

七代目家元 新内多賀太夫を襲名



新内節は江戸浄瑠璃の一つで、鶴賀若狭掾の門弟・二代目鶴賀新内の美声が一世を風靡したことから新内節と呼ばれるようになりました。

初期には歌舞伎にも出演していましたが、やがて寄席や流しを中心とし独自の発展をとげました。

切々たる哀調を特徴とし、唄も三味線も泣くような弾き語りは江戸庶民の語り物として歓迎されました。



場所 深川江戸資料館
常設展示室 火の見櫓前

料金 常設展示室入館料
(大人400円・小中学生50円)

※中学生以下の方は大人の方と同伴でご入館ください。

公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 江東区深川江戸資料館
〒135-0021 江東区白河1-3-28 (tel.03-3630-8625)